



No. 176 19 FEB 1979

Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ オ 1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F
会長 岡田雅晶 幹事 松田易己 会報委員長 藤原長良

オ176回 例会 昭和54年2月19日(月)於海南商工会議所

1. 開会司会 岡田雅晶

2. ロータリーソング 「奉仕の理想」

3. 出席率 86.49% 会員総数 37名 出席者数 32名
前回修正出席率 97.30%4. ビジター 川口果様(和歌山R.C.) 大江一郎様(海南R.C.)
垂井啓之様(〃) 上井紀了様(〃)
神保勝俊様(和歌山東R.C.) 宇都宮晴久様(和歌山東南R.C.)

5. 会長スピーチ

ビジターの方々ようこそお越し下さいました。今週金曜日2月23日はオ74回のロータリー創立記念日に当ります。此の日を含む今週一週間は世界理解週間になっています。此の週間は私達の関心を改めて、奉仕のオ4部門である所のロータリーの目標に向けようと言う週間で御座居ます。此の国際奉仕の目指す所は、奉仕の理想に結ばれました実業人の世界的な信仰によりまして、国際間の理解と、親善と、平和を推進すると言う事で御座居ます。そしてロータリアンは、みんな此の理想の実現に対しまして寄与しなければならない事になっています。

私達もロータリー財団或は世界社会奉仕のプログラムを通じて、此の理想の実現に協力を続けている訳で御座居ますが、今年から又新しく3Hプログラム保健、飢餓追放、人間性尊重と言うプログラムが始まりまして、国際奉仕部門に活動の場が拡がって来ています。此の様な状況の下で私達が、自分が一人の人間として、一人のロータリアンとして、国際奉仕の理想を実践に移すにはどんな事をすればよいか。此の週間に一人一人が今一度じっくりと考えてみなければならぬのではないかと思います。此の度宮田ロータリー財団委員長が、ポールハリスフェローになられました。ガバナーの方から立派なメダルとバッヂが送られて来ておりますので此所で伝達致します。 拍手

6. 幹事報告

○ 例会日時場所変更のお知らせ

和歌山東R.C. 2/22(木) → 12:00 創立20周年式典 産業会館

和歌山南R.C. 3/9(金) → 6:00 北京樓

和歌山東南R.C. 3/3(土) → 3/2(金) 12:30 職業奉仕の見学琴の浦リハビリ

大阪R.C. 4/6(金) → 4/3(火) 地区大会

REACH OUT 手をさし伸べよう

○ 年次大会参加申込明日締め切ります。変更ありませんか。

7. 委員会報告

国際奉仕委員会 中村隆俊副委員長

アジア地域大会の御案内について、お手元のパンフレット熟読の上お申込を3月10日で〆切ます。和歌山20クラブは団体で計画します。藤沢パストガバナーより呼掛けが参っています。多数御参加下さい。

マッチドクラブについて西岡委員長に代りお聞して頂きます。3年前マッチドクラブを開けと言う事でガバナーより737地区、738、751、749、750地区 5地区的データーとして12~3頁の資料を頂きました。その中にペニシルベニアの各地区的クラブの名前が載っていますが、当海南東クラブと創立年月が同じで人数も似ている所を選択しまして10クラブに対して手紙を送りました。

1通も返事が来なかつたのですが、その内ミルトンクラブから返事が来て同じ月曜日の例会の御縁でマッチドクラブを開こうとの内容でした。又こちらからも返事をして海南の状況、歴史を知らせました。所が、ミルトンクラブは80名の会員、20年の歴史を持ち、その上パストガバナー3人を出したクラブで名門2年程して交換学生の取組みの申込が来たのですが、当クラブとして経験もなく交換学生の取組が出来ない。中学生等の絵等を通じて理解を深めて行こうではないかと手紙を出しましたが、返事なくそれ以降交信が途絶えています。

以上マッチドクラブに対する経過を聞いて貰いました。

ロータリー情報委員会 片山委員長

年一回2月23日が参りますと必ず改めて考え直す事ですが、ロータリーの創立当時の模様をもう一度思い起す事にします。1905年2月23日を創立記念日とし創始者ポールハリスが1900年頃（明治30年）シカゴに来て青年弁護士として事務所を開く、当時のシカゴは新しい町で友人、知人の少い、犯罪や不道徳の町での孤独と淋しさを味わった。総ての職業に競争や詐欺が満ちていた。そこでかつて暮したイギリスの様な豪華な会合ではなく、同じ様な年頃と、同じ様な生活程度の社会人が集ってお互いに友情を深めると共に同じ仕事を宣伝し、紹介し合ったならば同じ様に会員の仕事が増えるだろう、生活も安定する事であろう、その為に同じ職種が二人以上いらない。之等の人々が、定期的に会合する事に依りお互いの友情を深め、お互いに仕事を紹介し合って夫々の職業の繁栄を計った。又成果を挙げ新しい友を求め、友情を求める会員相互の取引を高めていった。1906年頃には何回かの会合を重ね商売だけの会合ではとの疑問を持ち始め1907年相互の互尊による利益を社会奉仕の目的で市に忠誠を布及する綱領の基本が打出される様になった。そこでシカゴ市に公衆便所を寄贈しそが最初の社会奉仕の実践であった。その他食べ物、喜び、楽しみ等会員間の互尊問題親睦が考えられ、次に道德律が生れ地域社会に貢献と言う目的で委員会を造り種々の起案がなされてきた。1911年頃現在のサービスと言う考えが生れて来たものである。ロータリーが全世界のサービス活動の実践により相互扶助より、社会奉仕への理想を思い浮べ現在の発展を見るに至った様です。「社会の人間の幸福は他人の思い遣りと扶け合いにある。」



二工 BOX

奥様お誕生日おめでとう御座居ます。

2/20 山野ちさと様

宮田敬之佑君（皆様のお力添によりましてフェローメタルを授受した）